

事業名:ドローン前提社会を担う高度人材育成・産業振興基盤の構築

慶應義塾大学 連携市町村:田村市

現地拠点:田村市都路町岩井沢北向 185-1 (グリーンパーク都路内)

事業のポイント

ドローン前提社会の高度な担い手を育成する拠点構築を目指す。空以外のドローン(無人機)の活用例などを学習し、操縦技能を中心としたカリキュラムから、事前計画と遠隔監視とプログラミングによる自動・自律航行による運用を想定した新たなカリキュラムへの転換を進める。また、市内の設備と制度を整備し、地元人材が主体的に運用する新たな「シン・たむらモデル」を展開する。

人材育成目標

空以外のドローン(無人機)の活用例などを学習し、プログラミングや遠隔監視による自動航行・自律航行を想定した新たな人材育成カリキュラムへの展開による、高度ドローン人材の育成

2024年度の活動内容

レベル4を前提としたドローンの自律航行や運用においては、人工知能(AI)搭載ドローンが益々活用され、AIの役割が増すと考えられる。そこで2024年度は、2023年度までに構築したインフラを踏まえ、次の内容を柱に据えて高度人材育成を目指す。

- 1.AI搭載ドローンの活用に必要なSTEM教育
- 2.AI搭載ドローンを使った自律航行や画像認識・解析、センサー情報解析
- 3.空中と陸上、水上、水中のドローンを使ったドローン人材育成
- 4.プログラミング教育を連携した課題発見型人材育成



取り組みによって得られる成果

- ・ドローンを使った高度技術を地域の若者が習得し、地域の課題・問題解決を地元人材で解決可能となる
- ・地元有益な高度人材の育成が得られる
- ・田村市との連携により、産学官共同で高度人材育成を行える

